企画政策部長の仕事宣言！

企画政策部長 園木 一博

1 基本姿勢（部の運営方針）

本市は、高速交通網を含め、九州における陸路交通の要衝として発展し、現在では物流・流通系の企業進出が進み、全国有数の保税蔵置場を有しております。また、J1 サガン鳥栖の活躍や九州新幹線新鳥栖駅前に開業した九州国際重粒子線がん治療センター、またプレミアムアウトレットの立地により、九州はもとより全国から多くの人々が鳥栖市へ訪れることが今後も期待できます。

さらに、全国的に人口減少が進む中で、交通、産業、自然など恵まれた環境の下で、本市では今後も人口増が見込まれるなど、類まれな都市となっており、今後も本市の特性を生かしたまちづくりの取り組みが必要です。

このような状況を踏まえ、本市においては第6次総合計画の実現に向けて、特にリーディングプロジェクトの確実な実施のため、計画的な事業の推進に努めていきます。

企画政策部は、本市の重点事業の効果的・効率的な事務事業推進体制を確保するため、本年7月に新たに設置されました。今後、地方創生関連事業の推進及び鳥栖駅前周辺整備事業等、本市の重要施策の推進を図ってまいります。

2 重点事業の概要（リープロ11）

●リープロ11の名称〔2九州をリードするまちづくりプロジェクト〕

○5年後の姿

新鳥栖駅前に開業した九州重粒子線がん治療センターへ九州山口はもとより、広くはアジアから最先端の治療を求め、多くの人々が本市を訪れています。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・地域特性を活かした魅力ある拠点の形成を図ります。〔総合政策課〕
- ・観光客の受け入れ体制づくりを行います。〔商工振興課〕
- ・広域連携の取組を進めます。〔総合政策課〕
- ・付加価値の高い産業の創出を図ります。〔商工振興課〕
- ・スポーツを「する・親しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実を図ります。〔スポーツ振興課〕

●リープロ11の名称〔4広域連携のまちづくりプロジェクト〕

○5年後の姿

佐賀県東部地域の広域連携が図られ、地域間交流が盛んに行われています。また、市域や県境を越えた住民同士の交流が行われています。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・地域間交流・連携の取組を進めます。〔総合政策課〕
- ・広域連携の取組を進めます。〔総合政策課〕

3 重点事業の具体的取組内容（リープロ11）

●リープロ11の名称〔2九州をリードするまちづくりプロジェクト〕

九州国際重粒子線がん治療センターの事業推進、メディカルツーリズムの検討

○指標

新鳥栖駅利用者数 [H27年度の目標値] 9,590人/日

○平成27年度に具体的に何をしていくのか

- ・九州国際重粒子線がん治療センターの事業推進を図るため、資金収集活動、PR活動を積極的に推進する。
- ・メディカルツーリズムの調査研究

●リープロ11の名称〔4広域連携のまちづくりプロジェクト〕

将来のあり方検討委員会、筑後川流域クロスロード協議会等による連携事業の推進

○指標

鳥栖・三養基地域との連携事業数 [H27年度の目標値] 5事業以上
クロスロード圏域等との連携事業数 [H27年度の目標値] 10事業

○平成27年度に具体的に何をしていくのか

- ・筑後川流域クロスロード協議会、グランドクロス広域連携協議会による連携事業の推進